

ああ色めぐら

意外に安あす、観光スポットグルメ

庭園グルメ

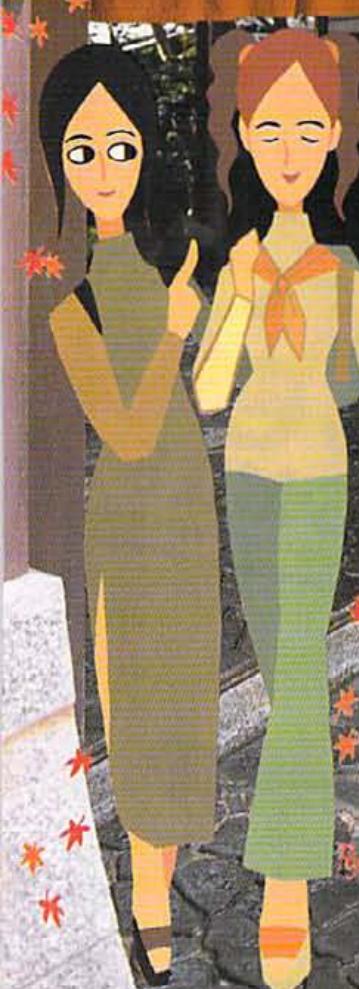
ゆどくふ 奥丹

知つてはりましたか?
意外に安あす
観光スポットグルメ
ほんに空氣も
料理もおいしそう

ゆどくふ
奥丹

吉本家

奥丹



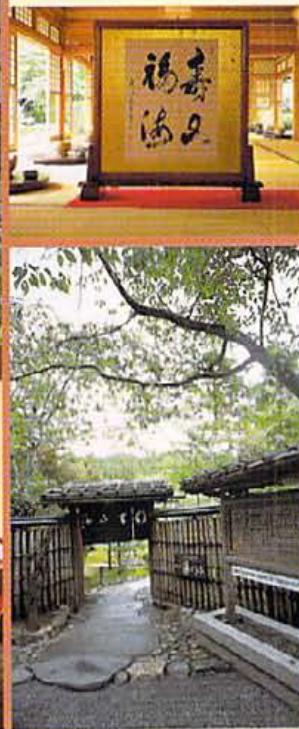
龍安寺

つい声が小さくなる
静かな雰囲気

3,300円

西源院の名物は七草湯。七草湯どくふを主菜とする精進料理です。七草とは秋や春のそぞれではなく、折々の具の意。キメの細かくねじりのよい木綿豆腐を、40年ぶりに作る。庭園の静けさと機械的な要素の少ない席の心が見え隠れする鏡容池のモミジ、冬の雪景(きようようさ)を見ゆわす。すると周囲の静けさと機械的な要素の少ない席の心が見え隠れする鏡容池のモミジ、冬の雪景(きようようさ)を見ゆわす。すると周囲の静けさと機械的な要素の少ない席の心が見え隠れする鏡容池のモミジ、冬の雪景(きようようさ)を見ゆわす。

聖仏教の神體であり、茶道の精神がなまけを待ちなさい」という意味です。



○名前「まるでんやいら」と読められたのれん
○は無限の象徴 田舎の意味です。

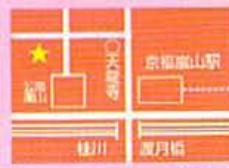
ココを見よう

見ておくれやす



おおこうちさんそう 大河内山荘 俳優・大河内伝次郎 の残した別荘

11月になると真っ赤に色づく小倉山の南面にある大河内山荘は、俳優・大河内伝次郎氏の別荘でした。氏はかつて丹下左膳を紹介し一世を風靡した往年の大俳優です。松や桜、楓を配した広大なこの庭園は昭和6年からなんと30年もの歳月をかけて創造したという傑作。見どころは荷といつても力強い松の緑と秋が深まることに色付く嵐山と比叡山のコントラスト。大乗閣がおすすめのポイントです。



■京都市右京区嵯峨小倉山田因山町
075-872-2233
●庭園公開時間／9:00~17:00
入場900円（お茶重付）/無休
●アクセス
●電車／京福嵐山駅より西へ徒歩8分

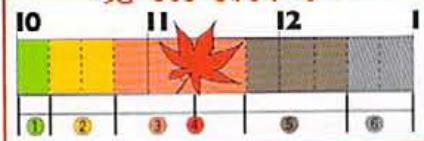
ココも見よう

四季のハッキリした私たちの京都に感謝。
見どころいっぱい、紅葉色めぐ
庭園グルメは、友だち同士でも、
デートコースにもぴったり。

この季節、空は高く、キンモクセイがほのかに香ります。身近すぎて訪れるのもついなおざりになってしまい、京都には本当に観光客だけのものじゃない、秋を彩る名所がたくさんあります。秋地よい秋の風に誘われてウズウズしたなら、モミジやかえでを愛でながら、ちょっと背筋を伸ばして塔頭なんかでお昼ごはん。思ついたよりずっと身近で手頃な景色とお料理をいたたきます。各スポットの紅葉見ごろの完全チャート付。

特別付録 紅葉チャートの見方

見ておくれやす



- ①まだ葉は緑です
- ②緑から赤へと色付く時期
- ③真っ赤な色が目に染みる見ごろの時期
- ④ここが必見
- ⑤葉がちりぢく時期
- ⑥落葉風情がある時期

取材・文／杉谷 良 大塚祐吾 田中尾弘子 はるのいづみ
写真／中川アキラ 小笠原圭一 山岸清一

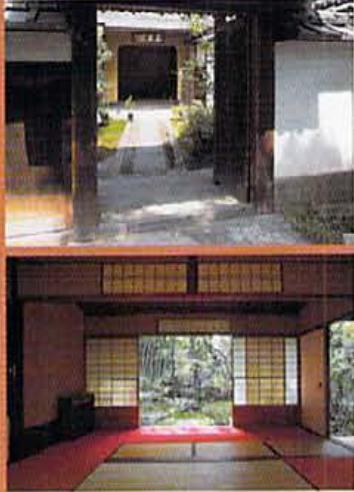
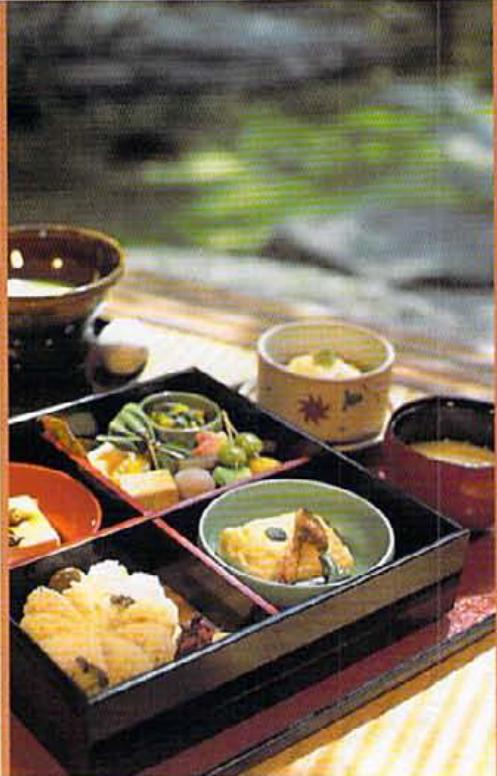
こうりんいん
岡林院

高台寺

高台寺最古の塔頭で
「精進弁当」

4,000円

味は塩をベースとし、しょゆで香ばしく香り付ける事を基本に、旬の素材と生麺や湯葉、擬製豆腐などを豆腐を使ったお料理を盛り込むのが禅宗精進料理です。寒天のようすにサクサクとした口当たりが意外な定番の胡麻豆腐は苦みがなく、胡麻の香ばしい後味が口の中に広がる絶品。樹齢100年を越すモミジの木があり、散りモミジの赤と昔の緑のコントラストが美しい。お抹茶を頂きたらおもろしく職さんとおしゃべりするのも楽しみです。



ココを見よう

■京都市東山区下河原町529
市バス「東山安井」より徒歩5分
075-533-4064
●9:00~16:00で住職さんがいらっしゃる時(お弁当は12:00~13:00)要予約/不定休

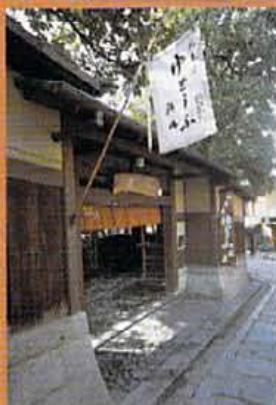
10
11
12
1

北政所が息を引き取ったという
「円通院」は北庭は桃山城を移築された名庭。
黒天に床几を並べる「文の助茶屋」の甘酒40円
わらび餅390円はあまりにも有名

見ておくれやす



高台寺のハギの花、円通院の池に点在するモミジなど、知恩院までのコースはこの時間、散策にうってつけ。



ココを見よう

水は比良の湧き水、大豆も志賀町から湧き水で栽培されなり。にがりは天然の堀垣を養にうなぎの店の地下でつくる自家製です。店内で作る奥丹の甘じてふく味わいかね。ご当地のやかまは400円でいただけます。

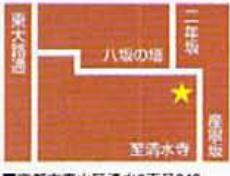
清水山の中腹、二年坂から産寧坂へ移るところに奥丹はあります。庭園は七百坪の広大な敷地の自然の姿をそのまま生かしたもので、ひよどりやめじろなど、野鳥も多くやっています。春は桜、秋は紅葉の名所です。白味噌に木の芽を練りこんだ木の芽田楽、胡麻どうぶつ精進天ぶらなしがついたゆふは、静かな雰囲気似合い、落ち着いていただけます。わけても陽が傾きました午後2時4時ごろには庭が夕日を正面に受け、絶景となります。

産寧坂

おくたん
奥丹・清水店

庭も食べ物も、
自然の姿そのままに

二年坂



■京都市東山区清水3丁目340
075-525-2051
●10:30~18:00/本体(要予約)
▲アクセス●市バス「清水道」下車徒歩7分

3,000円

見ておくれやす



清水寺付近は紅葉でも有名な場所です。店の庭は鼓動が山中での、真っ赤に燃えるモミジを食事を持つ間、食後に楽しめましょう。

高雄 指月亭

莊嚴な断崖に紅葉、百花繚乱



清滝川の水の音が聞こえる指月亭。新緑の季節と紅葉の季節には多くの人が訪れます。



- 京都市右京区梅ヶ畠殿町16
☎075-661-1001
●9:00~17:00/不定休
- ▲アクセス
- バス/JR京都駅からJRバス「橋ノ尾」停下車徒歩3分
- 車/京都市街から約30分。周山街道または嵐山高瀬バーゲンウェイ経由で高雄へ。11月の土・日・祝は府道神護寺街道は、車両通行止になる為、市営駐車場より徒歩10分

西明寺の指月橋脇にある休み処、指月亭は清滝川の断崖に沿うように建っています。座敷から溪流の音がさわやかに響き、食欲も倍増。ここはひとつ「湯豆腐定食」(2500円)をオーダーしてみましょう。主役の豆腐はツルリとした食感と大豆の風味が印象的な「とようけ屋山本」の「ソフト豆腐」。これにマスの甘露煮や月見どろ、天ぷら、小鉢がついてきます。京情緒いっぱいの湯豆腐と野趣(やしゆ)あふれる山里料理をゆっくり楽しみましょう。

見ておくれやす



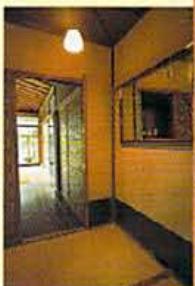
川沿いの岩はだから生えたモミジがワイルド! お店を覆うように生い茂るモミジとミックスして、風までも赤く染まります。

とうざんそう KKR 東山荘

神宮道



入口のすぐ脇にある茶室。茶室は全部で3カ所あり、貸室を希望の方は予約が必要です。



琴の音とともに
侘び寂びを味わう

東山荘で供される点心とは口切(くちぎり)、開炉(かいろ)などの茶事の際に軽く食べる物ですが、東山荘では昼食用にその量を増やし、膳(ぜん)に盛(の)らえたものです。昼食時には琴の音が流れ、雅な雰囲気で食事を楽しむことができます。庭を楽しむために縁側近くまで出す、ひとつ中央よりの真ん中の席に、昼食営業が終わる直前の2時前あたりにつけては日差しが全体を真渡すことがであります。裏庭には紅白の萩や薄(すすき)の草花も楽しめます。

見ておくれやす



入口から客間への通路はモミジのトンネル。また庭のどうぶんじの葉が真っ赤に染まり、赤茶けた杉苔は逆に真っ青になります。



- 京都市東山区栗田三條坊町21
☎075-561-2594
●11:00~21:00(昼食営業11:00~14:00)
月・12月29日~31日休
- ▲アクセス
- 市バス「神宮道」下車徒歩7分
市バス「知恩院」下車徒歩10分

ここを見よう

昭和4年に当時の建築技術の粋を集めて建てられた東山荘は、国内外の数寄屋造り(茶席・勝手・水屋など)が一種に作られたもの。建てられて67年にもなるのに四方正直のほかにも寸分の狂ひも出でないといつて都頼。

かいほうじ 海宝寺

桃山

中国風精進料理の
心に触れてみる

5500円~

海宝寺は中国風
の流れをもむお寺。で
すから、日本流の精
進料理ではなく、4人
で大皿から取り分け
て楽しむ普茶料理が
あります。普茶という
のは、「飲食は平等」
ということを記した
「普茶一請（ふちやい
せい）」の略。献立
は八宝菜の原形のよ
うな雲片（うんぺん）
など、和風とひと味
違った味覚と出会う
ことができます。中で
も紀州南部村の梅干
の塩分と酸味を丹
念に抜いたあと甘く炊
きあげた梅十しめ日の
出湯はうどのお寺なら
ではの新しい味です。



ココを見よう

もともと伊達正宗の伏見の屋敷
だったお寺。本堂にはなんと伊
達正宗の位牌もあります。



見ておくれやす



モミジがアクセントとして映える庭が印象的。でも、主役は伊達正宗
が植えたと伝えられる「天下無二の木製」という名の松の名木。

■京都市伏見区桃山町正宗20

☎075-811-1672

●11:00~15:00/木休

普茶料理5500円~※4名以上で要予約

▲アクセス

●電車／近鉄・京阪丹波橋駅より東へ、JR線路沿いに
北へ10分

●車／国道24号線桃山中学校北側交差点を東へ突き当たり

嵯峨

せいざんそうどう
西山艸堂

3,000円

嵯峨野の湯豆腐は
天竜寺塔頭が元祖

■京都市右京区嵯峨天竜寺
芒ノ馬場町63

☎075-861-1609

●11:30~17:00/水休

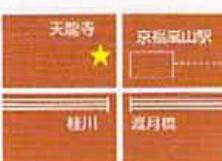
▲アクセス

●電車／京福嵐山駅から北へ
すぐ。天竜寺山門の少し手前
に入り口あり



嵯峨野らしいたずまいは「幽玄」という言葉が
本当に良く似合います。

ココを見よう



ここにおいて渡月橋周辺は全国的な紅葉の名所。また、天竜寺の庭
園は別名「紅葉の庭」と伝えられる名庭で、紅葉あれば紅葉が楽しめます。

いずせん 泉仙・大慈院店

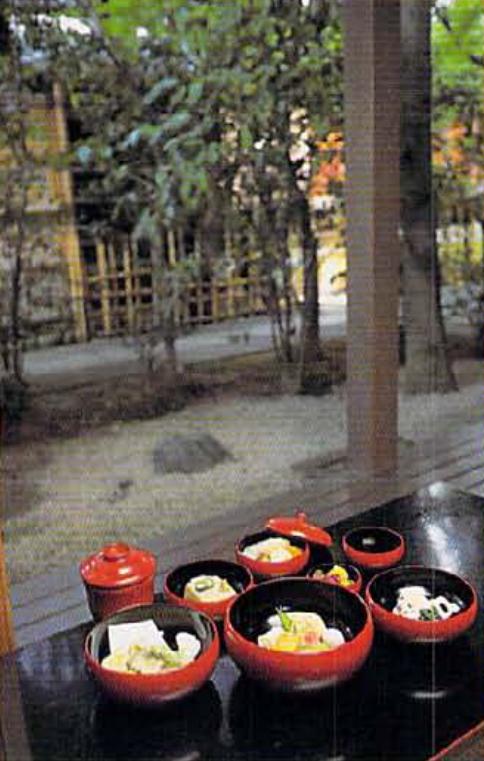
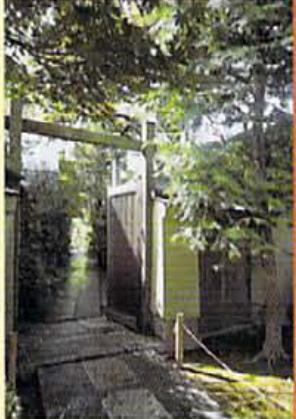
お坊さんの托鉢の
心をしのぶ料理

大徳寺

3,000円

泉仙の精進料理は
鐵鉢(てつばつ)料理
といい、僧が托鉢料
で喜捨(きしゃ)を
受け際に使う鐵製
の丸い鉢をかたじった
器に盛られています。
七品すべての料理を
残さず食べれば重ねて
一つの器に戻り、残
せばうまく重ならな
い。それによって味
組みになつているわけ
です。庭の桶の大木
から時折さす木もれひ
の中かつて僧らが一
つ一つ喜捨されたもの
を大切に修行に励ん
だ姿に思いを馳せ、
感謝の念をもつて味
わってみればまたひ
とおかむ。

ココを見よう!



見ておくれやす



大徳寺・高桐院は一面がモミジ。足元が青い赤い純色となり、モミジを歩く感じです。奥山ではないのに随に咲いています。

■京都市右京区花園妙心寺山内

④075-463-1334
⑤11:00~15:00/無休
⑥アクセス●京福電鉄「妙心寺」下車徒歩5分(北門)
市バス「妙心寺北門前」下車(北門)
JRバス「妙心寺北門前」下車(北門)
JR山陽本線「花園」下車徒歩10分(南門)
市バス「妙心寺前」下車(南門)
京都バス「妙心寺前」下車(南門)

ココを見よう!



妙心寺

東林院とうりんいん

枯山水の庭で初心に返る
心を味わう

2,500円



見ておくれやす

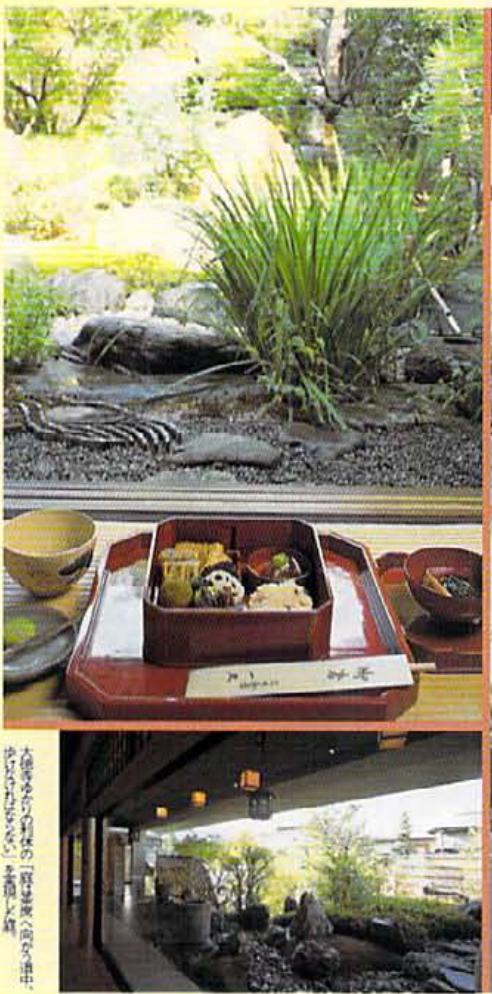


妙心寺境内で販売されている御歳次という商品では、100坪の敷地の中に、境内の樹齋に在する100種類のサツキ花を収集して100種類の花を杜絆で。

沙羅双樹の寺として有名な妙心寺の塔頭宿坊・東林院、裏側では枯山水の庭園、蓮華の庭が楽しめます。西京味噌仕立ての甘い吸い物のついた精進料理は、味はもちろんですが器が面白い。一飯吸い物以外全ての料理が盛られた器はすりばち、箸入れはすりぎがかなどうであるのです。寺の修行でいわれる「味噌入り3年・小僧3年」がその由来。悩んだとき、とき、初心に返るべく閑静な庭を眺めながら精進料理を味わうのもいかがでしょうか。

■京都市右京区花園妙心寺山内
④075-463-1334
⑤11:00~15:00/無休
⑥アクセス●京福電鉄「妙心寺」下車徒歩5分(北門)
市バス「妙心寺北門前」下車(北門)
JRバス「妙心寺北門前」下車(北門)
JR山陽本線「花園」下車徒歩10分(南門)
市バス「妙心寺前」下車(南門)
京都バス「妙心寺前」下車(南門)

が、「二晩天」(いっこうてん)は10cmほど玉を煮込んだ蒸しきの類を土中に埋め、水滴を落としていく水琴窟(すいきんくつ)。全般音のような、宇宙空間を想起させるような、などもいがなない不思議な音が響きます。



通 といふ

通といふ言葉が

【通】といふ言葉が
体験できる店



3,500円



■京都市北区紫野大徳寺前2

075-493-0019

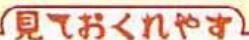
●12:00—18:00 不定期要子的

●アクセス●市バス「大徳寺前」下車

「」を見よう

「そりせんさん」。向井（むかい）さん。『まつばね』は、旅館の女将がつた。他に寺橋高盛（てらはし こうせい）は、旅館を営むう物語だ。品がなあさま、本当に火災が起きたときに、打合して居たのである。それで、焼かれた旅館などといふところが名付けられました。

「通」とは何でしよう。茶道にはその定義があります。目利き見立て、道具持ちです。知性と教養、機運の才、財力などもいいえます。機運の才、何で向かうかの花が咲く庭、草木の一つ一つによいものを選ぶ目利き、庭に傾斜をつけ、角張った大きな岩を頂上部に、小さく丸い石を麓部に置き、水源から平野部を表した貝立て、それを実行できる力。つまりこのお店は「通」なのです。通がつくる精進弁当、大徳寺様の盛りの味は、推して知るべしです。



こちらは大徳寺ご相達の拝場として有名。紅葉見物をなさりたい方は大徳寺・高桐院までぜひどうぞ。豪華な秋の色に出会えます。



ちょうしょくん
聰松院

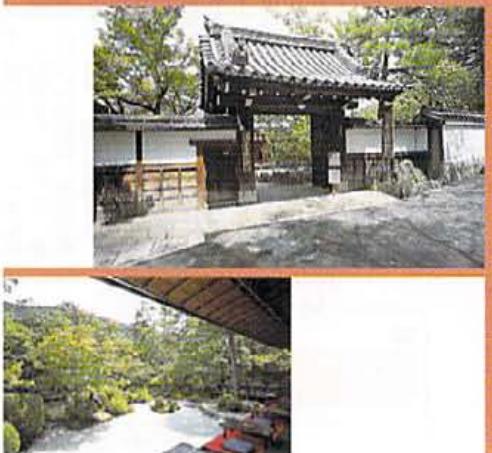
南極寺

枯淡な霧囲気と
湯どうふを味わう



1000円

湯どうふで有名な南禅寺の塔頭である聰松院は山門左手にあります。聰松院は山門を散策して楽しめる池泉廻遊式の庭園をもつ聰松院。その本堂は縁側や、鶴や今年になつて住みよい鶴が遊ぶ池の上に設けられた棟敷席で、名物の湯どうふを楽しみましょう。本堂東側の縁側中央部の席ならずべり、萩、松などが美しい庭全体を見渡すことができます。枯れた味わいの禅寺で、精進料理と湯どうふを味わう。「よくぞ日本に生まれれり」です。



■京都市左京区南禅寺福地町南禅寺山内
☎075・761・2166
●11:00～15:00（16:00閉店）
水・寺行事日／休
▲アクセス
●地下鉄東西線「蹴上」下車徒歩7分



見ておくれやす

南禅寺から少し北上するとモミジの名所としてよく知られる水鏡堂があります。週末には写真撮影するのに時間があればぜひ足を運んでみてください。



ココを見よう

「」を見よう
豆腐の製造法は道店使の押
憎に由り日本には伝わらず、始め
は吉田内や公家衆らを多く一部の人々
の物であり、庶民の口に入るようにな
ったのは江戸期、南宿守で門前薬所
の番人が旅人に先つたのが始まりとい
われています。

もみぢ家別館

高雄

深山にただよう
木の香もあじわい

4,500円

ココを見よう

清滝川のほとりに
えられる田床はこれから訪れる紅葉期の来客には人気。ですが食事客さんは食べるのが早いそう。高雄の景色にはやはり食い気よりはかにさるものがあるのです。

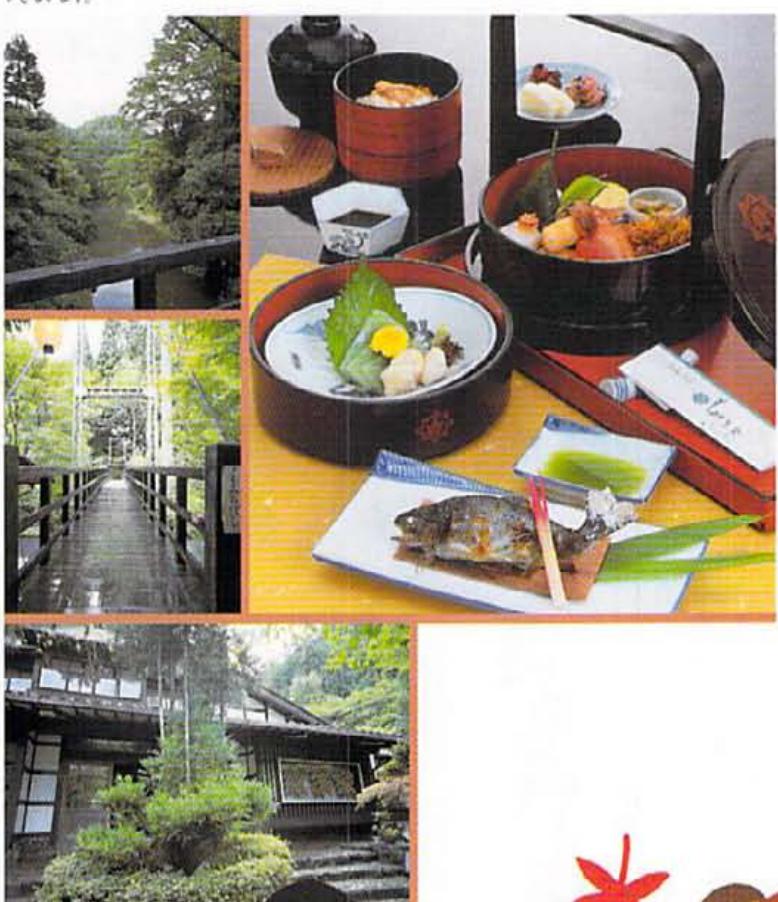
清滝川を保津川との合流点から川上へ約4km、和氣清麻呂ゆかりの神護寺のほど近くに旅館もみぢ家別館はあります。高雄山中は市内より気温が2度ほど低く、深谷を借景とした庭が最も美しい「尾張」の部屋で景色に心を躍らせながら、清流にしだるまちなみ岩魚の塩焼きや炊き合せを楽しむ秋の北山定食を。金木犀(きんもくせい)の甘い香り、木々の香りも一味加えられたものがあります。

見ておくれやす



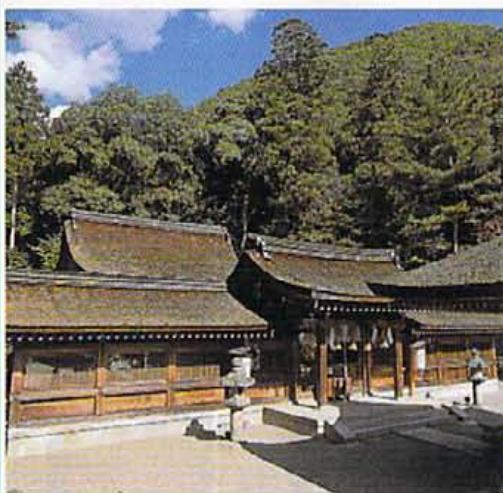
高雄は古代の歌にも詠まれた有名な紅葉の名所。神護寺を散策するドライブウェイを走り抜ける、晩秋を満喫するにちってこです。

■政府登録国際観光旅館 もみぢ家
京都市右京区梅ヶ畠高雄
TEL 075-871-1005
●毎日営業時間 11:00~15:00(無休)
●アクセス JRバス「山城高雄」下車徒歩1分



内

安寧心と
幸福な縁を
求めて祈る



社
電話
(0771) 241-7799(代)
京都府亀岡市千歳町出雲
251-3832

丹波国一之宮
名神大社・元出雲・元国幣中社



出雲大神宮

日本一の良縁に恵まれる「風水の力」がみぎまる場所、角岡。そこに位置し、風水の力の影響を大いに受けた神社「出雲大社」。堂々とそびえる御神体山(御蘇山)を仰ぐその麓に鎮守する出雲大神宮は、「五出雲」と呼ばれ、島根県の出雲大社よりも古くから存在すると言われている。その由来も、大國主命が出来て前に妻の三種津姫命と出会い、この地で

結婚生活を送ったことにある。鳥居をくぐると、広々とした莊嚴なる神殿が広がり、重要文化財である本殿の背後には美しくそびえる御蘇山から湧き出す靈水は、「眞名井の水」と称され、如何なる病氣と運氣に縁があり、常に縁結びにも効果があるとされている「縁結び」といふ。車、男女の仲を結ぶことだけではなく、人間の幸福の一縁を

深い縁を授けてくれる精神である。森林の静けさに溶け込む水の湧き出でる音。それらは、現代とかけはなれたやかな時間の流れの中に、あるやかな時間が流れなかつたかのよう。またかも神が降り立つたかのように、日常の忙しさ、雑然さを忘れさせ、忘れていた自分の中の暖かな、大切な何かを思い出させてくれるはずだ。

自慢のバストラインで毎日の外出が楽しみになりました。

春野美佳さん (23才 OL)
豊胸術

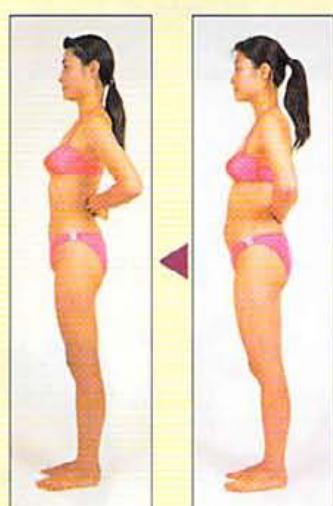


▲豊胸術で豊かなバストになつた春野さん。「女らしいボディラインになつて、ファッショングリップも広がりました。」

美しい顔立ちと女性らしい柔らかな雰囲気をもつ春野さん。ところが、そんな印象とは裏腹に、春野さんのバストは意外なくらいにコンパクト。「ブラでこまかしていましたが、やっぱり本物の、豊かなバストになりたくて。豊胸術で、ナチュラルな美しいバストラインになつて毎日のオシャレにも力が入ります。」豊胸術によりお選びいただけます。費用は、豊胸術 (生理食塩水法 / 脂肪注入法) 60万円。

下半身太りを解消して流行の服の似合う美しいボディになった!

水沢英さん (20才 学生)
お腹と太ももの脂肪吸引



▲全身のバランスが、良くなつた水沢さん。もう、どんなファッショングリップも着こなせそう

いろいろなダイエットをしたけど、なかなか効果がです「これは脂肪吸引しかない」と、品川美容外科へ。そこでおなじく太ももの脂肪吸引。見違えるほどキレイなプロポーションに。脂肪吸引の費用は、二の腕の脂肪吸引28万円、お腹38~58万円、お尻38万円、太もも38~48万円、太もも全体68万円、ふくらはぎ38万円、その他。

美しく洗練された冬のオシャレを。



ナチュラルな二重でオシャレの幅が拡がりました

新田佐和子さん (23才 秘書)
二重術



▲重たい感じの目元がどうしても気に入らなかつた新田さん。はっきりした二重にして華やかな印象に。

爽やかな横顔に心もウキウキしてくるようです。

田中麗子さん (21才 フリーター)
隆鼻術



▲鼻が低いと横顔で損してしまう。手術後、のっぺり感がなくなり、キリッと引き締まった顔に。

ただ今キャンペーン期間中
すべての費用が
10% OFF
になります

品川美容外科

●年中無休 ● a m 10:00 ~ p m 7:00
●各種クレジットカード・ローンもご利用できます

京都 075-344-3386

京都市下京区七条通烏丸東入 ■24時間美容案内
ネオフィス七条烏丸ビル4F ☎ 0120-006477

ぶへい

たなびく竹の音を
聴きながら昼食

大原野



市内から30分で街の喧騒が嘘のような別世界にワープ。ぶへいは「花の寺」で有名な勝持寺の竹やさす風まれた味処です。風が吹くと竹の葉がサヤサヤと心地良いBGMを奏でてくれます。おすすめは造りや天ぷら、焼物、煮物などを楽しめる「洛彩弁当」(3,000円~)。活けはあるので海の幸は新鮮そのもの。ブリの海老や近江牛を楽しむなら玉自らが焼いた素焼きながらいただけ「宝菜焼」(480円~)をどうぞ。

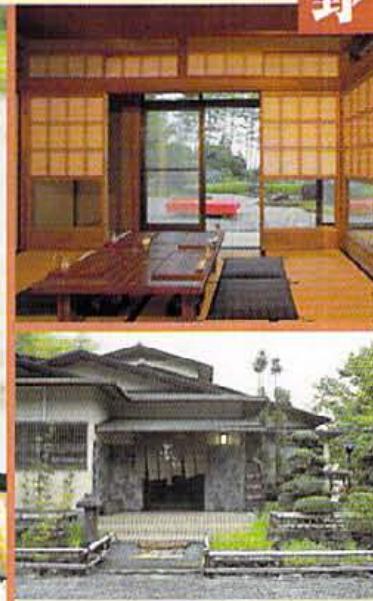
ここを見よう

市内からのアクセスは9分程度。用洛西高校の近くに差しかかったたら山の方向を危険に見てみましょう。真っ赤に色づいた山がドーンと目に飛び込んでくるはず。観光バスのお客はここで必ず「オフ」と声を上げを。

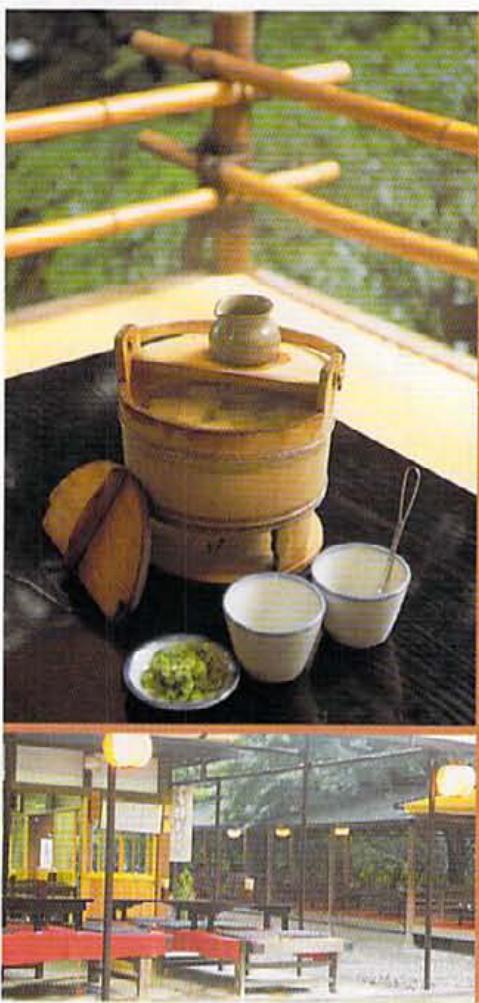
見ておくれやす

10 11 12 1

紅葉は歩いてすぐの大原野神社が最高。特に鳥居から続く参道はうっすらと積もった散りモミジが見られる11月中旬以降が見頃。



■京都市西京区大原野神社西入花の寺山門横
④075・331・2248
⑤11:00~21:30 「洛彩弁当」は11:00~16:00)
ノ休
■アクセス●車／京都市街から約30分。国道9号線桂坂交差点を南へ、洛西高校脇を通過して大原野神社方面の西へ。



清水寺 滝の家

桟敷席から
紅葉を眺めてほっこり



見ておくれやす

10 11 12 1

桟敷席は一面紅葉に囲まれて、まるで朱色のカーテンがかかるかのように。風が吹くと、モミジの葉が緋に吹き込んできます。

少し肌寒い季節だけど、外の席がおすすめ。清流とモミジの葉すずの音がとてもさわやか。抹茶・おはぎセット500円はいかが?

三つの窓(かけい)から流れ落ちる音羽の滝。そのまま横には、現在の主人が代目という古くから続く茶店「滝の家」があります。涼やかな清流の音が聞こえる店先の席も良いけど、紅葉の季節は迷わず桟敷席に座りたい。深い紅葉の森にたたずむ庵のよう。ひんやりと心地よい山の風が吹き抜けます。心も体も一服させてあけましょ。せんざいや甘酒、熱々の湯豆腐はいかが。冬支度を始めた真っ赤な秋の木々に、白い湯気がゆれて昇ります。

ここを見よう

ご存じ清水の舞台(本堂)から眺める最高の景色のように広がる紅葉の先には京都市街の一望できます。滝の家の奥のほうから下る細道が錦華路。本堂から見下ろした紅葉の雪を、今度は見上げるがよきじょ。

もんぜんじやや 門前茶屋

花背

山川の幸を弁当に
これぞご馳走

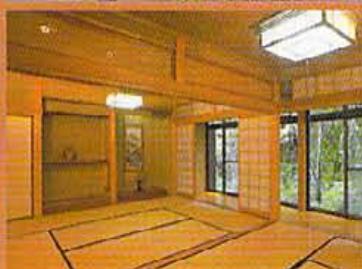


京都市街から車で1時間少々。花背の山里では、京都市の秘境的山里です。そんな花背の山で採れた山菜や川で釣れた魚を料理して出してくるのが、峰定寺のほど近くにある門前茶屋です。門前茶屋は料理旅館ですが、食事処としても利用OK。おすすめは山川の幸をふんだんに盛り込んだ「門前弁当」(300円)。春に採れたフジアマゴの佃煮や漬物の前を流れる寺谷川で釣れたアユやアマゴの天ぷらなどをせせらぎを眺めながらどうぞ。



ココを見よう

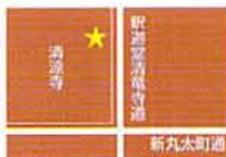
■京都市左京区花背原地町380
□075・746・0072
●非営業は予約制なので営業時間・定休日不定
●アクセス
●バス/出町柳駅から京都バス「広河原行」で約1時間40分、「大悲山口」停下車、徒歩20分
●車/京都市街から所要時間約1時間。堀川通から京見坂、別所、花背を経て「大悲山口」バス停を東へ。



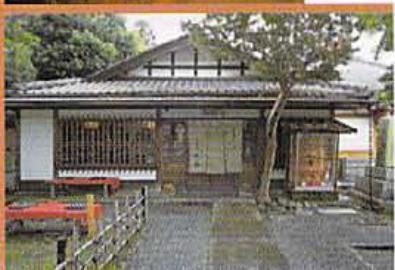
見ておくれや



川の向こう岸の左側のモミジも見事ですが、門前茶屋創業と同時に花を咲かせるようになったシダレザクラも10月中旬から色づきます。



阿弥陀像があるお座敷で湯豆腐を頂くというシチュエーションは祇園境内の竹仙だけか。



嵯峨竹仙

時代劇ロケで有名な境内で湯豆腐を

■京都市右京区嵯峨駅近
堂清涼寺境内
□075・882・3074
●10:00~17:00/木休
→アクセス●電車/JR
嵯峨駅より清滝道を北へ
徒歩約10分清涼寺(祇園
堂)境内に入る



積迦堂こと清涼寺の境内にある湯豆腐処・竹仙で頂けるのは「おさまり」という名の精進風の湯豆腐セット(3500円)。食前酒、八寸、和え物、胡麻豆腐、炊き合わせ、湯豆腐などがセットになっているので、ボリュームには満足です。嵯峨の森の豆腐をガツオベースの汁で頂くところですが、ネギ、ノリ、シヨウガ、そして少々の七味がすでに汁に入っていますが、これはお豆腐を最もおいしく食べる為に出した主人の結論。

見ておくれや



お店横の石段沿いのモミジがエレガント。もっとも草やかな境内清涼寺社務所横のモミジで、撮影スポットとして人気があります。